

令和4年度 志木市立志木第二小学校 学校経営方針

令和4年4月1日

校長 松本秀之

1 本校の学校教育目標

「進んで学ぶ子」 「心の豊かな子」 「体をきたえる子」

2 基本理念

生き生きと児童の瞳輝き 笑顔あふれる学校づくり

3 目指す学校像

「気持ち良いあいさつ溢れる志木二小」

- ・組織力を高め、児童に生きる力をつける学校
- ・保護者、地域住民との連携を図り、地域とともにある学校

4 目指す子ども像

「自ら学び 心豊かな子」

- ・自ら真剣に学習に取り組む児童
- ・他人を思いやり、協調性のある児童
- ・心身ともに健康な児童

5 目指す教師像

「学び 実践する教職員」

- ・教育は感化、自らの「人間性」を常に磨き続ける教職員
- ・児童の心に寄り添い、公平・公正な教職員
- ・児童、保護者、地域の方から信頼される教職員
- ・研修に励み、指導力を高める教職員
- ・授業を大切にし、児童に力をつける教職員
- ・「報告・連絡・相談」と「協力」を大切にする教職員

6 経営の基本方針

児童一人一人が生き生きと活動し、知・徳・体をバランスよく身に付け、確実に伸ばすことのできる、活力に満ちた質の高い学校づくりを目指す。

(1) 変える勇気と変わる覚悟

これまでの成果を継承するとともに従前主義や前年踏襲を退歩と捉え、小さなことでも課題解決と改善を図るための検討、工夫に熱意と創意をもって組織的・継続的にPDCAマネジメントサイクルに取り組む。

(2) 豊かな学びで未来を拓く

新学習指導要領の確実な実施とともに、カリキュラム・マネジメントによる教育活動の質の向上、主体的対話的で深い学びによる授業改善などを通し、確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成に取り組む。

(3) 学ぶにふさわしい学習環境

児童が、安心して学べる安全で清潔で潤いのある学校であるため、教育環境の点検及び整備に取り組む。

また、不登校解消に努めるとともに、いじめの早期発見・早期対応に努め、いじめ見逃し0に取り組む。

(4) 学校・家庭・地域の連携

地域とともにある学校づくりを推進するため、ホームページやグーグル等を活用して、積極的に情報を発信するとともに、コミュニティ・スクールを推進し、保護者・地域・関係機関との連携を一層深める。

(5) チーム志木二小

児童・保護者・地域から信頼される学校職員であるため、教職員事故防止・マナーアップ・教育公務員としての資質の向上に取り組むとともに、職員の健康と安全に配慮した学校運営を推進する。

7 令和4年度の重点

(1) 小中一貫教育の推進 (組織力を高め、児童に生きる力をつける)

- ①目指す学校像、子ども像、教師像の志木二中・志木四小との統一
 - ・志木四小と連携を密にし、授業規律や清掃の仕方などを統一し、志木二中に送り出す。
- ②高学年での教科担任制(2年目、志木市のフラッグシップ校として)
 - ・国語・道徳・総合的な学習の時間・特別活動を担任が指導し、社会・5年算数・理科・図画工作・体育を5クラスの担任で交換制に、音楽・外国語・家庭科、6年算数を教務の専科制にする。

(2) 社会に開かれた教育課程 (保護者、地域住民との連携を図る)

- ①積極的な公開
 - ・土曜参観を実施し、平日の授業参観が困難な家庭へも、学校を開く。
 - ・学級の様子等を記載した「学級通信」を、全学級作成し、各家庭に配布する。
 - ・学校ホームページの充実を図り、学校教育活動を積極的に公開する。
- ②学校運営協議会、学校応援団の活動促進
 - ・2年間に渡る感染症対策により、保護者・地域と学校との距離が離れてしまった今こそ、コミュニティ・スクールを有効活用する。